

“絆”きずな

今年度初の試み!!サテライト会場での研修会を開催

研修班が運営する管理者養成研修会は10年間で1500名を超える修了者を輩出し、全国の訪問リハビリテーションの質の担保に寄与している。年々求められる療法士の役割は多様化し、更に訪問のみならず在宅分野全体への期待が高まる状況を鑑み、昨年度より在宅リハビリテーション従事者研修会を開催している。多様化する必要な技能をより多くの方がタイムリーに獲得できるよう、一昨年のトライアルを経て今年度サテライト会場を設置しウェブによるライブ配信を行った。

サテライト会場では、時間的経済的な負担の軽減により本会場受講者122名を超える144名の方が受講した。配信環境の問題や開催規模、また会場間でより一体感をもつプログラムの工夫等の課題はあるが、全国均一に情報を得る機会や情報を共有する場が提供できる手段として更に進化し、サテライト会場へのウェブ配信による研修会が標準化されることを目指していく。

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団 研修班 ピリ 睦

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介④ 熊本県編

熊本県人の気質を表す言葉で「肥後もっこす」や「肥後猛婦」があり、「情熱・頑固さ・競争心」という良い意味で癖が強い人柄を指します。

ここだけの話、地域リハビリに携わるセラピストに多くみられます。これがご当地自慢であり熊本県人としての「強み」です。

私達は「情熱」をもって平成29年に熊本県リハビリテーション三団体協議会の生活期リハビリ部門を設立しました。目的は癖の強い仲間を増やすことです。訪問リハ実務者研修を含め、シンポジウムや研修会に「こだわり(頑固さ)」をもち、他県に負けない魅力ある「何か」を常に考えています。

最後に熊本県で地域リハに携わる言語聴覚士は、県土会会員約500名のうち10%程度と希少価値が高く、唯一の開拓者たちです。彼ら・彼女らと一緒に活躍できる場の拡大を考えながら啓発活動に励んでいます。

ことばと心をつなぐ



熊本県言語聴覚士会

熊本県訪問リハ・地域リーダー 言語聴覚士

池田 健吾

医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院

～南から始まる『訪問リハビリテーションの魅力紹介』～ 富山県

「スリルとサスペンス」

つい先日、趣味の合唱活動で、三重県の合唱団と合同演奏会を行う機会がありました。旧知の間柄で遠方ということもあり、事前の練習はそれぞれで、合同練習は当日リハのみ、すぐ本番！ 打ち上げの席で首謀者の一人が言った言葉「皆さん、いつも言ってますけど、合唱はね。スリルとサスペンスですよ」正に体現した演奏会でした。

これは人生。そして訪問リハにも言えることと思います。訪問リハ直後に夫婦喧嘩が始まり、あわや離婚までもつれ必死になだめたこともあります。また、ご自宅に大きな蜂が入り込んでおり退治してからやっとリハを始めるという事態にも遭遇しました。どちらもこの半年間の出来事です。

でもまあ、これくらいのスリルとサスペンス、人生にはつきもの。乗り越えるだけの力を、皆さん持っているはず。Let's enjoy!

富山県訪問リハ・地域リーダー 言語聴覚士

市橋 健

介護老人保健施設シルバーケア今泉